

交通安全ポスター 優秀賞及び最優秀賞作品紹介



◇優秀作品◇
 神奈川工業高校
 笹島和珠さん



◇優秀作品◇
 岸根高校
 伊藤和華菜さん



◇優秀作品◇
 鶴見高校
 西條瑠巳さん



◇優秀作品◇
 白山高校
 山口朋恵さん



◇優秀作品◇
 神奈川工業高校
 神山雛花さん



☆最優秀作品☆
 鶴見高校
 松尾惟子さん

交通安全アピール文最優秀作品紹介

○岸根高校 漆畑彩華 「他人事にしないで」

小学生の時、私はどこへ行くにも自転車を使っていた。しかし、昔を振り返ると当時の自転車の乗り方は良いものとは言えない。

小学校では何度か自転車の交通安全講座があった。そこでは「イヤホンはつけない」、「スピードは出しすぎない」など、自転車に乗る上でのマナーやルールを学んだ。けれども当時は、きっと私には関係ないと、他人事のように思い、よくイヤホンをつけて自転車に乗っていた。

そんなある日私は、友人宅から帰るときに見送りに来てくれた友人母からイヤホンを注意された。しかし、なぜ注意されたのか分からず理由を聞き返すと「周りの音が聞こえないから」と言われた。それでも私は分からなかった。なぜなら、イヤホンをつけていてもある程度の音なら聞こえるし、聞こえていれば良いと思ったからだ。今思うとこの注意も他人事のように思っていたのだろう。

数年後、私はなんとなくこの言葉が引っかかっていたのにも関わらず、イヤホンをつけて自転車に乗っていた。友人に連絡袋を届けているときだった。イヤホンをつけ音楽にノリながら猛スピードで坂道を下っていると、気づいたときには私の体は宙に浮いていた。どうやら自分から車に突っ込んでしまったようだ。幸い軽傷で済んだが、警察や当時の担任の先生まで来てくれた。私はそこでわかった。イヤホンは周りの音が聞こえていても、音楽に集中してしまい、周囲への注意力が低下してしまうため危ないのだ。

現在、自転車は「ヘルメット装着の努力義務」などの新たなルールが増えてきている。このようなルールはひとりひとりが守らねばならないものだと思った。ルールを他人事だと捉えていた私が一番そのことを痛感したからである。